

とみおか 社協だより

～富岡製糸場と絹産業遺産群～
世界文化遺産

社協HP



第56号

令和6年
11月1日発行

〈発行〉社会福祉法人
富岡市社会福祉協議会

(富岡市富岡1439-1 70-2232)
あい愛プラザ1階 FAX 62-6223



わくわく!いっぱい取れた!

第18回サツマイモ収穫祭

9月29日(日)、丹生湖西側丘陵地において「サツマイモ収穫祭」を開催しました。朝まで小雨が降り続き天候が心配されましたが、関係団体も含めて200名を超える方々にご参加いただきました。

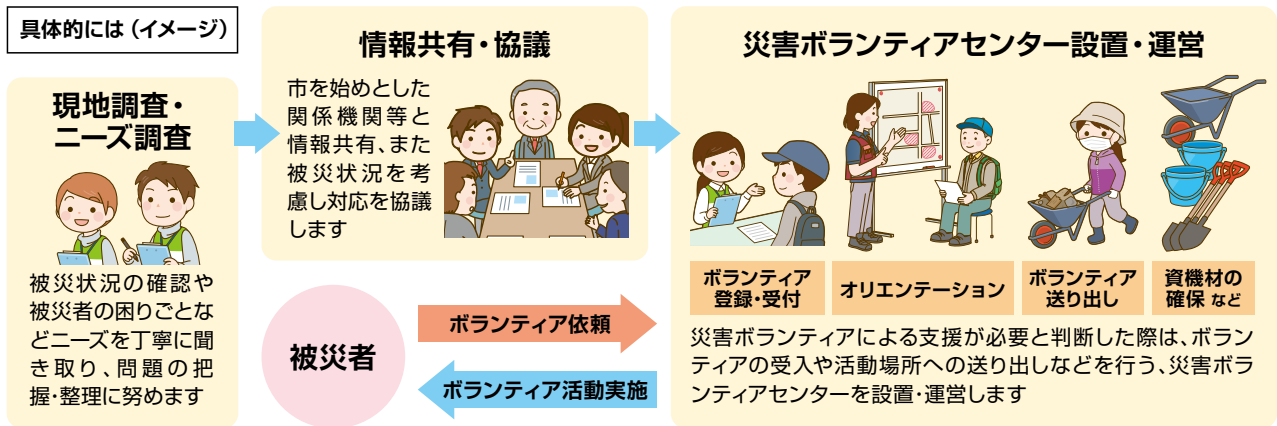
今年も大きなサツマイモがたくさん実り、子どもたちは湿った重い土を掘り進めながら、サツマイモを見つけると歓声を上げて収穫を楽しんでいました。

猛暑の中、挿苗から収穫まで畑の管理にご協力いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。

社協の災害支援

災害時に社協は何をするの？

被災者の生活再建のため、市や関係団体等と連携・協働し、被災者の困りごとに寄り添い、必要により災害ボランティアセンターを設置・運営します



活動先の減少など状況を鑑み、災害ボランティアセンターは閉所します。

ただし、閉所と同時に完全に活動を終えるのではなく、引き続き困りごとの相談に対応し、必要な場合にはボランティアを調整するなど、伴走した支援を行います。

外部への災害支援

社協は社会福祉法に基づき、すべての都道府県・市町村に設置されています。全国に広がるネットワークを活かし、被災地へ応援職員の派遣やボランティアへの支援、募金の呼びかけ等の被災地支援も行っています。

この度、令和6年1月1日に発生した能登半島沖地震の被害に対する災害支援活動として当会からも2名の職員を石川県輪島市へ派遣しました。主な活動内容は、他県の応援社協や様々な関係団体等と協力し、災害ボランティアセンターの運営補助やニーズ調査を行いました。

派遣場所・派遣期間 場所: 輪島市社会福祉協議会本所 期間: 令和6年5月26日～6月1日(1名)、8月10日～8月16日(1名)



過去の災害支援

未だ記憶に新しい、令和元年10月12日に発生した台風19号では、富岡市も甚大な被害を受けました。その際、翌日に職員による被災状況の調査、その結果を踏まえ、10月14日から10月28日まで「災害ボランティアセンター」を開設しました。

開設当初から市内外より多くのボランティアの皆様にご協力いただきました。特に注目していただきたいのが活動者の割合です。活動者延べ人数836名のうち約8割が市内の皆様でした。これは、他のボランティアセンターと比較しても非常に高い割合で、富岡市民の助け合いの精神やつながりの強さを感じることができました。

災害ボランティアセンター開設実績

▼2007年(平成19年) 台風9号 ▼2019年(令和元年) 台風19号



福祉教育を推進しています

当会では、子どもたちが自分の住んでいる地域の福祉環境について知り、相手の立場に立って考えられる力、人とのつながりの大切さを知ること、誰もが「ふだん」の「くらし」の「しあわせ」を実現できるということを学べるように、「ふくし教育プログラム」として疑似体験や講話など9つのプログラムを実施しています。

福祉教育は、小中学校に限らず地域や企業からのご依頼もお受けいたしますので、ぜひご相談ください。

福祉講話



社会福祉協議会の紹介の他、「ふくし」とは何か、身近にある障害やバリアフリーについて、地域の福祉環境などを知り、福祉が身近なものであることを学びます。

車いす体験



ハンディキャップのある人の立場を理解し、車いすの基本的な操作方法や介助の仕方を体験します。

高齢者疑似体験



体験装具を装着し、高齢者の日常生活を疑似体験することにより、加齢による身体の変化を知り、気持ちやサポート方法を学びます。

アイマスク体験



2人1組になり、ガイドをする側・される側(アイマスク着用)を交互に体験し、視覚障害のある人の気持ちや適切なサポート方法を学びます。

点字体験



点字の仕組みを学び、点字器で実際に点字を書く体験をし、障害をもつ人のコミュニケーションについて学びます。

手話体験



簡単なあいさつや自己紹介の手話を体験し、障害をもつ人とのコミュニケーション手段について学びます。

障害者との交流体験



障害のある当事者とのかわりを通して、お互いを正しく理解し、共に助け合って生きていくことの大切さを学びます。

赤い羽根教室



地域福祉に取り組む民間団体を支援するしくみとして、また、市民のやさしさや思いやりを届ける運動として、共同募金運動への理解・関心を深めていただきます。

ボランティア講話

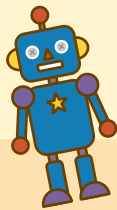


ボランティアの基礎知識の他、市内での活動や収集活動の紹介を通して、身近なところからできる支え合い活動であるボランティアへの関心を深めていただきます。

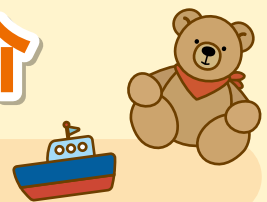
妙義小学校【4年生】

車椅子体験、高齢者疑似体験を行いました。介助する側・される側を交互に体験してもらい、それぞれの立場を感じてもらいました。この体験から相手の状態や気持ちを想像すること、相手を思いやることの大切さを学んでもらいました。





ボランティア団体の紹介



富岡おもちゃの病院

小学生以下のお子さんの壊れたおもちゃを無料で修理しています。毎月第4日曜日(12月は休診)にあい愛プラザ2階で開院しています。修理は無料で行いますが、部品代は有償です。

おもちゃをお返りする時のお子さんの笑顔を何よりの楽しみに活動中です。

現在、修理は予約制です。おもちゃを修理する仲間も募集しています。

社会福祉協議会(電話:70-2232)までご連絡ください。

おもちゃの病院HP



夏休み中学生ボランティア体験学習を実施しました

今年も市内3カ所の高齢者福祉施設にご協力いただき、「夏休み中学生ボランティア体験学習」を実施しました。26名の中学生が各施設に分かれ、2日間のボランティア体験を行いました。

26名の生徒は、納涼祭の準備や片付け、食事の配膳、入所者の介助等、施設内での仕事について体験していただきました。

参加者からは「利用者さんや職員の方から感謝されて、やりがいと嬉しさを感じた」、「違う学校の人達と協力して活動ができて良かった」、「ボランティアは自分から気付き行動することが大切だと感じた」などの感想をいただきました。

施設の皆様には中学生を温かく迎えていただき、充実した体験が出来るようご配慮くださいましたことに感謝申し上げます。



▲ふれあいホーム



▲鏡泉苑



▲天の間園



ご存知ですか？ 赤い羽根共同募金が役立っています

10月1日から、今年も赤い羽根共同募金運動が全国一斉に展開されました。富岡市においても、すでにたくさんの皆様からご協力をいただいています。

お寄せいただいた浄財のうち、半分は地域の福祉事業に配分され、残りの半分が富岡市民の福祉サービスや災害準備金に活用されます。



今回は、赤い羽根共同募金の「施設・設備・備品整備配分」の助成を受けた「一峰こども園」をご紹介します。

一峰こども園は例年、夏季に子ども達が楽しみにしているプールで水遊びを実施しています。プールの未使用時は園児の転落防止や、ゴミ、虫の混入を防ぐ為にプールカバーで覆っていますが、年々紫外線などの影響でプールカバーの劣化、損傷が進み、使い続けることが難しくなっていました。そこで、このたび赤い羽根共同募金の配分金を受けて買い替えることができ、今年も安心して園児たちが水遊びをできるようになりました。

このように、地域でも役立てられている赤い羽根共同募金へ今後とも協力をよろしくお願いたします。



歳末たすけあい募金にご協力を

「歳末たすけあい募金」は共同募金運動の一環として、地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉施設等の関係機関・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことが出来るよう、募金をお願いするものです。

運動
期間

12月1日から
31日まで

目標と
する金額

1世帯あたり
100円

募金の主な使い道

ひとり親家庭や児童養護施設入所者、在宅重度障害児、在宅要介護高齢者等への見舞金贈呈事業



なんでも福祉相談を実施しています

なんでも福祉相談とは？

「なんでも福祉相談」はどこに相談したらよいかわからない、生活や福祉に関する困りごとをいったん受け止め、関係機関とのネットワークを活用し、より適切な支援先へとつなげるなど、課題解決に向けてお手伝いします。

また当会では、生活困窮者自立支援事業や心配ごと相談などの相談事業も行っており、必要な際にはそちらの相談員とも連携していきます。

どこで相談できるの？

施設名	住所	電話	受付時間
社会福祉協議会	富岡1439-1(あい愛プラザ1F)	70-2232	8:30~17:15 (土日、祝日除く)
つくし学園	富岡378	64-1345	
妙義白雲寮	妙義町大牛523-5	73-2328	



上記の各施設に「なんでも福祉相談員」を配置していますので、お気軽にご相談ください。

心配ごと相談所のご案内

日常生活での様々な困りごとや心配ごとの相談に相談員が応じます。必要に応じて、行政をはじめとする公的機関や関係機関の紹介等も行います。

身近な家族だからこそ相談しづらいことや、相談まではいかないかもしれないけれど少し話を聞いて欲しいことなど、相談内容の秘密は守られますのでお気軽にご相談ください。

開所日 毎月第2・第4木曜日
(祝日の場合休所)

時間 午後1時30分～
午後3時30分

場所 あい愛プラザ1階相談室

※相談は無料。予約は不要ですので、直接お越しください。

わくわくフェスティバルにお出かけください

この事業は、子どもからお年寄り、障害を持った方、ボランティア等が一堂に会し、ゲームや即売会を通して「誰もが安心して暮らすことのできる地域」となるよう親睦を深めるとともに、ボランティアの啓発も図ります。

当日は、どなたでも参加できるスタンプラリーや参加者全員に景品が当たるじゃんけん大会を予定しています。また、模擬店や即売会も出店しますので、お気軽にお越しください。

日時 11月9日(土) 午前10時～正午

会場 一ノ宮運動場
(雨天の場合は一ノ宮体育館:上履きをご持参ください)

内容 第1部 スタンプラリー (ポッチャ風当てや福祉クイズ等)
模擬店 (フランクフルト、ポップコーン、ドリンク)
即売会 (手作りお菓子、手作り雑貨、農産物)

第2部 じゃんけん大会

おこころざしありがとうございます。

善意銀行に寄せられた温かい市民の善意 (令和6年6月1日～令和6年9月30日)

善意銀行には、市民の皆様からたくさんの寄付金が寄せられました。ありがとうございました。(敬称略)

寄付金

▽宮前司法書士事務所	61,000円	▽「命の授業」富岡市実行委員会	10,772円
▽ヤマザキYショップいりやまお客様一同	3,963円	▽ピアかざりや	100,000円
▽おもちゃのストウお客様一同	1,510円	▽社協窓口募金箱	10,000円
▽藤岡・富岡遊技場組合	50,000円	▽匿名	3,933円
▽七日市プール通りクラブ	3,115円	▽匿名	1,106円

※ご厚意によりお預かりした浄財は、地域福祉推進のため、安心カードの作成、ボランティア活動助成、広報紙発行及び福祉基金の積立に限定して使用しております。